



チーム鶴工のための「鶴工文化祭」

11月号は鶴工文化祭を紹介します。工業高校の文化祭は初めての経験だったので、新しい発見がたくさんありました。文化祭自体は2日間ですが、前後に前夜祭とエンディングセレモニーが行われます。生徒会を中心に生徒が主体的に運営し、学校と鶴工サポーターの会が支え合うイメージです。今年は、10月の体育大会が雨天のため1週間延期となり、文化祭の準備開始が遅れましたが、チームワークと皆の熱意で追い込みました。



創意あふれるクラス展示

工業高校のクラス展示は想像以上に面白いです。各クラスとも専門の知識やスキルを最大限に発揮し、個性と創造性あふれる展示やアトラクションが楽しませてくれます。ものづくりを手段として、いかに魅せる展示にするか、各クラスともに工夫しました。教室にジェットコースターを作ろうなんて発想も奇抜ですし、化学反応を利用して占いをやったり、木工の世界遺産をライトアップした展示など、どれも素晴らしい着眼点と出来栄でした。

「鶴工サポーターの会」からのご褒美

11月7日(木)の前夜祭では、文化祭準備で頑張った生徒たちへ、鶴工サポーターの会から労いの打ち上げ花火がプレゼントされました。10分ほどの打ち上げ花火は、澄んだ秋の夜空を照らし、各所から歓声が上がりました。3年生は最後の文化祭と言うこともあり、「高校生活終わりたいくない」など感慨にふける場面もありました。それにしても、生徒たちのために拘り続ける前夜祭は、鶴工サポーターの会の皆さんの鶴工愛と情熱を感じます。



全力で楽しむステージ発表

書道パフォーマンスで幕を開け、吹奏楽部やダンス同好会の発表公演、有志による唄やダンスで初日の体育館は熱気でいっぱいでした。2日目の中庭ステージもアームレスリングや漫才やバンド演奏など、普段見られない意外な生徒のタレント振りにも大いに盛り上がりました。MCを務めた機械科2人の活躍にもあつぱれです。また、中庭では鶴工サポーターの会が企画したキッチンカーが並び、生徒や保護者たちがご当地グルメに舌鼓を打ちました。2日間天気にも恵まれ、生徒・保護者・地域・学校が一体となったチーム鶴工によるチーム鶴工のための文化祭が幕を閉じました。ご尽力戴いた全ての方々に感謝致します。